

# 総合戦略関連事業の取組状況

# 【基本目標1】若い世代の希望をかなえる結婚・出産・子育て環境の創造

## (1)「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府」の実現

### 数値目標

数値目標	実績(H27)	目標値(H31)
合計特殊出生率 ※H21～25年の平均 1.63	1.62 (H26参考値)	1.80以上

### 具体的な施策

- (1)「子どもの輝く笑顔 夢を育むまち 防府の実現」
- ① 若い世代の経済的安定と結婚支援
  - ② 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
  - ③ 子育て家庭に対する経済的支援

### 重要業績評価指標(KPI)

※5年間の累計・・・H27～H31の累計(以下同様)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
市の制度を利用して正規雇用化した人数	- (年度)	実績なし	50人(5年間の累計※)
婚活イベントによるカップル成立数	- (年度)	イベント実績なし	50組
子育て応援サイトのアクセス数	- (年度)	サイト制作準備	25,000件
病児・病後児保育施設数(累計)	1か所(H26年度)	1か所	2か所
留守家庭児童学級の児童待機数	62人(H26年度)	40人	0人
「赤ちゃんの駅」登録数(累計)	22か所(H26年度)	34か所	40か所
ファミリーサポートセンターの利用件数	2,278件(H26年度)	3,296件	2,700件
男性の家事育児参加促進のための啓発講座等の参加人数	13人(H26年度)	14人	50人
不妊治療費助成件数	- (年度)	124件	200件
子育て家庭の経済的負担軽減施策に対する市民満足度の割合	7.2%	本年度は調査なし	20%以上
第3子以降の出生数	883人 (H21～25年の累計)	196人 (H26年参考値)	1,000人(5年間の累計)

### 平成28年度の取組状況

- 「婚活イベント開催事業費補助金制度」について、婚活イベントの企画提案に5件の応募があり、うち2企画を採択した。
- 「多子世帯子育て支援商品券交付制度」を10月から開始し、10月末までに140件の申請があった。
- 本年度から実施している、特定不妊治療に対する助成に対して、10月末までに16件の申請があった。
- 「幸せます子育て応援サイト」を11月に開設した。
- 佐波小学校における留守家庭児童学級1学級の増設が完了し、運用を開始した。

(1)「学ぶなら防府」の実現

数値目標

数値目標	実績(H27)	目標値(H31)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小学校87.9% 中学校76.1%	小学校100% 中学校100%

具体的な施策

- (1)「学ぶなら防府」の実現
- ① 地域とともにある学校づくりの推進
  - ② 次代を拓く児童生徒の「学ぶ力」の育成
  - ③ 家庭・地域の教育力の向上

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
小中学校の授業へ参画した外部人材の述べ人数	830人(H26年度)	3,574人	3,000人
放課後子ども教室開設箇所数(累計)	10か所(H26年度)	12か所	15か所
授業の内容がよく分かると答えた児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校81%(H26年度) 中学校74%(H26年度)	小学校81% 中学校77%	小学校90%以上 中学校80%以上
勉強が好きだと答えた児童生徒の割合(全国学力・学習状況調査)	小学校60%(H26年度) 中学校60%(H26年度)	小学校62% 中学校66%	小学校70%以上 中学校70%以上
三世帯同居・近居に対する支援制度の利用件数	— (年度)	平成28年度から実施	100件
「(仮称)幸せます人材バンク」登録者数(団体含む)	127人(H26年度)	128人	200人

平成28年度の取組状況

- 英語教育の充実を図るため、富海小中学校に常駐する外国語指導助手1名を7月から雇用した。
- 8月1日から5日間の日程で、富海小中学校及び富海地域において、「夏休みイングリッシュキャンプin防府」を開催し、120人の参加があった。
- 「防府市三世帯同居支援事業」を本年5月から開始し、10月末までに15件の申請があった。
- 「防府市生涯学習指導者バンク」を拡充・強化する「指導者バンク」と、学校や公民館で行われている様々な活動の支援を行うボランティアを登録した「支援者バンク」を一体的に運用する「ほうふ幸せます人材バンク」を構築した。

(1) 防府市の特性を活かした産業力の強化

数値目標

数値目標	実績(H27)	目標値(H31)
新規雇用創出数	174人	600人 (5年間の累計)

具体的な施策

(1) 防府市の特性を活かした産業力の強化

- ① 企業誘致の推進
- ② 重要港湾三田尻中関港の機能強化
- ③ 地場産業・既存中小企業の育成
- ④ 創業しやすい環境づくり

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
企業誘致優遇措置指定件数	3件(H26年度)	4件	24件(5年間の累計)
コンテナ年間取扱貨物量	44,452個(H26年度)	48,009個	53,000個
潮彩市場防府来客数	449,572人(H26年度)	606,309人	600,000人
オフルート・クルーズ参加者数	83人(H26年度)	219人	400人(5年間の累計)
クルーズ船寄港回数	—(年度)	1回	3回
売れるものづくり事業による新製品開発着手事業者数	1社(H26年度)	0社	7社(5年間の累計)
空き店舗活用促進事業を活用した店舗のうち継続して出店している店舗数	17店舗(H26年度)	20店舗	30店舗
まちなか店舗リフォームの活用件数	—(年度)	34件	250件(5年間の累計)
関係支援機関の支援による創業数	52件(H26年度)	49件	250件(5年間の累計)

平成28年度の取組状況

- 野島海運が所有する定期船「レインボーあかね」のドック入渠を活用した、尾道市へのオフルートクルーズが旅行商品として販売され、8月17日(防府～呉、39人)、25日(尾道～防府、43人)の利用があった。
- 「みなとオアシス三田尻」の活用を目的としたワークショップを5月から4回開催した。
- 補助対象地域を市内全域に拡大した「店舗リフォーム助成事業」は、受付開始日の4月18日に、予算額に達した。
- 9月5日に、防府市創業支援センターを、デザインプラザHOFUに移設し、創業支援のプロであるインキュベーションマネージャーを迎え、支援体制の強化を図った。
- 「女性の活躍応援・人材確保支援事業」を新たに構築し、男女ともに働きやすい職場環境の形成に取り組む市内企業の認定制度及び認定企業を対象とした支援制度を構築することとした。

(2) 第一次産業の担い手育成と経営基盤の強化、(3) 防府ブランド“幸せます”を核とした観光振興

具体的な施策

(2) 第一次産業の担い手育成と経営基盤の強化

- ① 農業の担い手育成と経営基盤の強化
- ② 地元水産物の消費拡大の推進と担い手育成

(3) 防府ブランド“幸せます”を核とした観光振興

- ① 観光まちづくり体制の整備
- ② 明治維新150年を契機とした観光需要の拡大

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
農業新規就業者数	3人(H26年度)	5人	25人(5年間の累計)
新規就農支援事業を活用した件数	—(年度)	4件	20件(5年間の累計)
農地利用集積割合(認定農業者・特定農業法人等管理水田面積割合)	28%(H26年度)	28%	50%
特定農業法人数(累計)	3団体(H26年度)	3団体	5団体
6次産業化・農商工連携の支援件数(農業)	—(年度)	事業未実施	3件(5年間の累計)
6次産業化・農商工連携の支援件数(水産業)	—(年度)	事業未実施	3件(5年間の累計)
漁業新規就業者数	1人(H26年度)	0人	7人(5年間の累計)
観光案内所利用者数	11,885人(H26年度)	13,064人	13,000人
「(仮称)幸せますステーション」認定店舗数	—(年度)	23店舗	40店舗(5年間の累計)
着地型旅行商品の造成数	—(年度)	10件	10件(5年間の累計)
「地旅」参加人数	422人(H26年度)	423人	600人
観光客数	1,866,333人(H26年度)	2,219,808人	2,200,000人
ブランド総合研究所による地域ブランド調査の認知度ランキング	404位(H26年)	419位	50位以内

平成28年度の取組状況

- 地方創生加速化交付金を活用して、「賑わい創出・収益向上戦略」の策定に着手したほか、9月に道の駅潮彩市場防府の駅長を採用した。
- 地方創生加速化交付金を活用して、(一社)防府市観光協会が、「食のブランド力向上」に取り組んでいるほか、広島県をメインターゲットとした、潮彩市場防府を含めた市内観光PR等の誘客プロモーションを実施している。
- 毛利家本邸完成100周年を記念し、10月21日から23日までの間で、「毛利邸で和を愉しむ」イベントを開催し、当日は1,276人の来場があった。
- 観光プロモーション動画「タイムラプス防府」の別バージョンを公開した。



(1) 防府市への定住に向けた市内就職の促進、(2) 防府市への移住促進

数値目標

数値目標	実績(H27)	目標値(H31)
若者の転出超過人数 (202人)の半減 (H22~H26の累計)	290人 (転出超過)	100人 (H27~H31の累計)

重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
企業ガイダンス参加者数	— (年度)	130人	300人
企業ガイダンス参加企業数	— (年度)	13社	30社
高校卒業就職者のハローワーク防府管内(山口徳地含む)の就職率	60%(H26年度)	59%	65%
シルバー人材センター会員数	1,105人(H26年度)	1,097人	1,200人
障害者就労ワークステーションから企業への就労者数	— (年度)	2人	6人(5年間の累計)
進学者を対象とした(仮称)企業情報提供バンクの登録率	— (年度)	バンク未設置	60%
定住促進奨学金の利用人数	1人(H26年度)	3人	10人
人材確保に対する支援制度を活用した企業数	— (年度)	実績なし	50社(5年間の累計)
UJIターン相談件数	20件(H26年度)	31件	200件
相談を通じて移住した世帯数	0世帯(H26年度)	1世帯	10世帯(5年間の累計)
地域おこし協力隊活用人数	— (年度)	2人	6人(5年間の累計)
本社機能等の移転件数	— (年度)	実績なし	2社(5年間の累計)

具体的な施策

(1) 防府市への定住に向けた市内就職の促進

- ① 地元学生等への就職機会の拡大
- ② 高齢者や障害者等への就労に向けた支援

(2) 防府市への移住促進

- ① 県外大学生等の防府市への就職の促進
- ② 幅広い世代に対する還流・移住の促進
- ③ 教育関連施設や企業等の防府市への移転促進

平成28年度の取組状況

- ・ 8月24日に、「「若者」地元定着セミナー～住むなら・働くなら・学ぶなら防府に、という選択～」を開催した。
- ・ 県内大学の協力を得て、市内企業を紹介する動画の作成に着手した。
- ・ 中心市街地へのサテライトオフィス誘致活動の結果、IT企業4社の視察訪問があった。
- ・ 移住促進プロモーションのため、東京、大阪で開催された移住フェアに出展し、計14件の相談を受け付けた。

# 【基本目標5】 元気みなぎるコンパクトシティの形成

(1) 活力ある都市核づくりと地域を繋ぐ交通ネットワーク形成、(2) 地域コミュニティの活性化

## 数値目標

数値目標	実績(H27)	目標値(H31)
防府市に住み続けたいと思う人の割合 (H27年アンケート結果 83%)	H31年度にアンケート実施	90%以上

## 具体的な施策

- (1) 活力ある都市核づくりと地域を繋ぐ交通ネットワーク形成
  - ① 活力ある都市核づくりの推進
  - ② 都市核と地域を繋ぐ交通ネットワーク形成
- (2) 地域コミュニティの活性化
  - ① 学校を核とした地域づくりと多世代家族形成の推進
  - ② 中山間地域等におけるコミュニティの活性化

## 重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
中心市街地の1日の通行量(休日)	9,412人(H26年度)	9,644人	13,500人
文化施設利用者数	266,329人(H26年度)	240,827人	320,000人
路線バス(市内で完結する系統)利用者数	306,000人(H26年度)	341,000人	330,000人
地区集会施設(単位自治会館等)数(累計)	153か所(H26年度)	153か所	160か所
自主防災組織率	98%(H26年度)	100%	100%
富海小中学校の児童生徒数	87人(H26年度)	92人	120人
向島公民館の利用者数	10,130人(H26年度)	9,363人	12,000人
小野小中学校の児童生徒数	218人(H26年度)	211人	218人
小野公民館の利用者数	10,331人(H26年度)	11,866人	12,000人
タブレットを用いた年間平均授業時間数(富海小中、向島小)	—(年度)	97時間	100時間
茜島シーサイドスクール事業の児童生徒数	5人(H26年度)	6人	5人

## 平成28年度の取組状況

- 防府市の都市計画に関する基本的な方針(都市計画マスタープラン)の見直しに着手した。
- 「地域公共交通網形成計画」の策定に向けた、生活交通に係る実態調査や、実証事業、高齢者等の移動の足を確保するための新たな制度の構築に着手した。
- 6月に小野地域「夢プラン」が策定された。
- 地方創生加速化交付金を活用して、富海地域活性化協議会が地域事業推進人材を獲得し、9月から事業戦略の策定に着手している。

# 【基本目標5】 元気みなぎるコンパクトシティの形成

## (3) 安心して暮らせる基盤づくりの推進、(4) 都市経営システムの充実

### 具体的な施策

#### (3) 安心して暮らせる基盤づくりの推進

##### ① 地域包括ケアシステムの構築

#### (4) 都市経営システムの充実

##### ① スtockマネジメントの強化

##### ② 自助・共助によるまちの活性化を支える仕組みづくり

##### ③ 産・学・金との連携や広域連携の推進

### 重要業績評価指標(KPI)

項目	現状値	実績値(H27)	目標値(H31)
認知症サポーター数	3,073人(H26年度)	3,831人	6,000人
地域包括支援センター相談件数	35,771件(H26年度)	37,956件	39,000件
公共施設の統合・複合化件数	—(年度)	0件	2件(5年間の累計)
市民活動支援センターの登録団体数	214団体(H26年度)	201団体	240団体
県内大学との共同研究等の実施件数	3件(H26年度)	2件	15件(5年間の累計)

### 平成28年度の実施状況

- 「防府市認知症カフェ運営事業者」の募集を8月に行い、2事業者を選定した。
- 9月から10月にかけて、公共施設の保全に関する基本的な考え方、公共施設の長寿命化等に関する取組方策を示す「防府市公共施設保全計画」(案)のパブリックコメントを実施した。
- 10月16日に、株式会社レノファ山口及びイオングループと、「地方創生、まちづくりパートナーシップ包括連携」協定を締結した。
- 関係市町と山口県中部エリアにおける連携中枢都市圏形成に関する情報交換を行っている。